

試験ブループリント

Nutanix認定プロフェッショナル 人工知能 (NCP-AI) 6.10試験



目次

作成者	3
寄稿者	3
1. 試験	4
1.1 試験の目的	4
1.2 問題数	4
1.3 受験料	4
1.4 合格スコア	4
1.5 目標と試験問題の関連性	4
1.6 言語	4
1.7 制限時間	4
1.8 試験のスケジュールリングおよび受験	5
1.9 認定トラック	5
1.10 再受験ポリシー	5
1.11 試験のセキュリティ	5
1.12 再認定	5
1.13 認定のメリット	6
2. 対象者	6
3. NCP-AI 6.10試験で対象となる目標	7
3.1 はじめに	7
3.2 目標	7
セクション1 - Nutanix Enterprise AI環境をデプロイする	7
セクション2 - Nutanix Enterprise AI環境を構成する	9
セクション3 - デイ2の運用を実行する	11
セクション4 - Nutanix Enterprise AI環境をトラブルシューティングする	13
セクション5 - Nutanix Enterprise AI環境にアプリケーションを接続する	15
4. NCP-AI 6.10トレーニングの推奨事項	17
4.1 コースの推奨事項	17
5. リソース	18
5.1 Nutanix Community Edition	18
5.2 テストドライブ	18
5.3 Nutanix Community	18
5.4 その他のクラウドネイティブ関連リソース	18

作成者

Jeff Hall マネージャー - 技術認定開発

寄稿者

Ashish Sharma サービスプロバイダーソリューションアーキテクト
Ashwini Vasanth プリンシパルプロダクトマネージャー
Austin Stone アソシエイトシステムズエンジニア
Daemon Behr アドバイザリーシステムズエンジニア
Drew Plaster シニアネットワークシステム管理者
Ganang Saputro 臨時従業員
Husain Ebrahim、GPTおよびAIスペシャリスト (EMEA)
Ibrahim Ahmad ソリューションアーキテクト
Jai Prakash シニアシステム信頼性エンジニア
Jaleon Baskerville アソシエイトシステムエンジニア
James Brown シニアスタッフコンサルティングアーキテクト
Jesse Gonzalez スタッフソリューションアーキテクト - クラウドネイティブ
John Isdell システムセールスエンジニア
Josh Stevenson シニアシステムエンジニア
Kim Mount Cutter Groupテクニカルディレクター
Laura Jordana テクニカルマーケティングディレクター
Logan Grahn シニアアソシエイトシステムエンジニア
Luke Congdon シニアプロダクトマネジメントディレクター
Marlon Menezes アドバイザリーシステムエンジニア - コマーシャル
Maroane Boutayeb グローバルユニットリード - Nutanix on OVHcloud
Nitesh Singh シニアシステム信頼性エンジニア
Ryan Figler シニアアソシエイトインサイドシステムエンジニア
Venu Vuppalapati シニアスタッフグローバルプラクティスリード - データベース

免責事項 :

Nutanix認定プロフェッショナル - 人工知能 (NCP-AI) 6.10試験ブループリントガイドは、NCP-AI 6認定資格を取得するために習得する必要がある目標の概要について説明します。本ガイドは、Nutanixが受験者のNCP-AI 6認定資格の取得を保証するものではありません。本ガイドの情報はすべて、Nutanixの単独の裁量により、随時変更される可能性があります。

1. 試験

1.1 試験の目的

Nutanix認定プロフェッショナル - 人工知能 (NCP-AI) 6.10試験は、Nutanix Enterprise AI (NAI) のインストールと、構成、最適化、トラブルシューティング、およびGenAIのアプリケーションとエージェントをNAIと統合する受験者の能力を評価します。これらのスキルと能力を習得していることを証明できます。

1.2 問題数

NCP-AI 6.10試験は、75問の選択問題（単一回答、複数回答）で構成されています。

1.3 受験料

NCP-AI 6.10試験の受験料は、199米ドルです。

1.4 合格スコア

この試験の合格スコアは3000です。スケールドスコア方式（換算方式の採点法）が用いられます。スコアのスケールは1000～6000です。スケールドスコア（換算スコア）は、試験のバージョンごとの試験問題の数と種類など、さまざまな要素を考慮した数式を使用して算出されます。

問題の数や種類は、同じ試験でもバージョンによって異なる場合があります。そのため、受けた試験のバージョンに基づいて、スケールドスコア（換算スコア）で全員に公平なスコアを提示します。

1.5 目標と試験問題の関連性

目標は、試験が何を評価することを目的としているかを要約したものです。目標は、Nutanix Enterprise AI (NAI) のインストールと、構成、最適化、トラブルシューティング、およびGenAIのアプリケーションとエージェントをNAIと統合することに関わる所定のタスクに基づいて、試験開発者と対象分野の専門家によって策定されます。

最初の策定プロセスが完了すると、これらの目標は、外部の実務担当者のグループを用いて検証されます。最終的に、各目標に対する問題数が決定されます。目標ごとの問題数は、職務のタスクの重要度に直結しています。

1.6 言語

試験は英語と日本語で行われます。

1.7 制限時間

試験の制限時間は120分です。

1.8 試験のスケジュールリングおよび受験

NCP-AI 6.10試験は、リモートの試験監督官によるリモートプロクタリング方式、または所定のテストセンターで受験する対面方式で実施されます。

リモートプロクタリング方式を選択する場合、試験に申し込み、有効な身分証明書を提示すると、各自の受験場所でウェブブラウザを使用して受験する方法について案内が送付されます。試験はリモートで監督されるため、ロックダウンされ、監視された、安全な受験環境が提供されません。

対面の試験を選択する場合、お近くのテストセンターを選択できます。試験当日は、政府機関発行の有効なIDを持参し、試験開始時間の15分前までにテストセンターにお越しください。

1.9 認定トラック

NCP-AI 6.10試験は、Nutanix人工知能トラックのコアコンポーネントです。この試験に合格すると、NCP-AI 6の認定資格を取得することになります。

認定資格を取得するには、試験で合格スコアに達する必要があります。コースの受講は必須ではありませんが、Nutanixは、試験の目標を網羅するトレーニングを実施しています。推奨されるトレーニングコースの詳細は、[セクション4](#)をご覧ください。

1.10 再受験ポリシー

初回の受験で不合格となった場合、2回再受験できます。再受験まで7日間の待機期間が設けられています。初回の受験と同様に、試験ごとに受験料のお支払いが必要になります。再受験まで十分に準備の時間を確保し、最も合格を狙える状態で受験することをお勧めします。

注：3回受験すると、60日間受験できなくなります。その後、university@nutanix.com宛てにメールで連絡し、受験回数のリセットを要請することができます。この間に、本ガイドと関連資料を十分に確認したり、推奨されるトレーニングを受講したりすることをお勧めします。

1.11 試験のセキュリティ

Nutanixは、試験のセキュリティポリシーに違反する受験者の認定を拒否する権利を留保します。試験教材を複製および再配布する、試験中に各種教材を使用する、試験問題を撮影しようと試みる、虚偽の身分証明書を使用して受験するといった行為が違反に該当します。受験者の身分証明書は、試験申し込みプロセスの一環として記録され、有効性が確認されなければ、受験は認められません。

1.12 再認定

Nutanix認定プロフェッショナル - 人工知能6.10試験に合格し、NCP-AI 6認定資格を取得すると、資格は2年間有効です。

認定のステータスを維持するには、既存の認定を更新するか、別の認定トラック内で同等のNCPレ

ベルの試験に合格する、またはNCM-MCI試験に合格する必要があります。

1.13 認定のメリット

- ソーシャルメディアで共有可能なCredlyのデジタルバッジ
- シャツやマグカップなどを購入可能なNutanixストア (<http://store.nutanix.com>) の Certification ショップへのアクセス
- 将来の試験の開発にSMEとして参加する機会
- Nutanix .NEXTの参加割引

2. 対象者

NCP-AI 6.10試験およびNCP-AI 6認定資格の受験者は、仮想インフラストラクチャの経験が3年以上と、クラウドネイティブテクノロジーおよびLinuxコマンドラインインターフェイス (CLI) の使用経験が1年以上必要です。

合格するには、仮想マシンや、ハイパーバイザー、仮想ネットワークといった仮想インフラストラクチャコンポーネントの基礎知識が必要になります。また、NCIクラウドや、クラウドベースのInfrastructure-as-a-Service (IaaS)、GPU、およびNutanix Unified Storageの知識も必要になります。最後に、認定Kubernetes管理者 (CKA) 認定レベルの知識が必要になります。

開発者や、サポートエンジニア、ソリューションアーキテクト、およびクラウドエンジニアなどが一般的な合格者です。また、AIアプリケーションのオーナーや、データサイエンティスト、データエンジニア、システムインテグレーター、付加価値再販業者 (VAR) なども合格者になっています。

Nutanix Enterprise AI (NAI) 管理 (NAIA) コースなどのトレーニングコースを受講すれば、合格できる可能性は高くなります。

3. NCP-AI 6.10試験で対象となる目標

3.1 はじめに

受験者は、NCP-AI 6.10試験を受ける前に、Nutanix Enterprise AI (NAI) のインストールと、構成、最適化、トラブルシューティング、およびGenAIのアプリケーションとエージェントをNAIする統合のために必要な知識とスキルを身につけておくことが推奨されます。また、受験前に、[セクション4](#)に記載されているトレーニングコースを完了することも推奨されます。

NCP-AI 6の認定資格では、受験者は以下のソフトウェアバージョンでテストを受けます。

- NAI : バージョン2.3

3.2 目標

受験に先立って、受験者は以下の各目標を理解しておかなければなりません。各目標、受験者が使用経験を積んでおくべき関連ツール、

目標と関連のある情報が記載された参考文書が以下に挙げられています。なお、一部の文書には、サポートポータルからアクセスする必要があります。サポートポータルで使用するアカウントの作成については、[こちら](#)をご覧ください。

目標はすべて、以下に挙げられていない他の製品文書でも言及されている場合があります。受験者は、関連するすべての製品文書を十分に把握しておくか、同等のスキルを身につけておく必要があります。

セクション1 - Nutanix Enterprise AI環境をデプロイする

目標1.1 : インストールの前提条件を確認する知識

識

- インストールの前提条件を特定する
- インストールの制限事項を特定する
- インストール手順を列挙する
- NAIアーキテクチャーの中核となる基本コンポーネントを説明する

参考資料

- [Nutanix Enterprise AIの概要](#)
- [Nutanix Enterprise AIの要件](#)
- [Nutanix Enterprise AIの制限事項](#)
- [Nutanix Enterprise AIのデプロイメントのタイプ](#)
- [Nutanix Enterprise AIのライセンス](#)
- [Nutanix Enterprise AIにおける大規模言語モデル](#)

目標1.2 : Nutanix Enterprise AIのコンポーネントを

インストールする知識

- [NKP（アプリカタログを含む）環境と非NKP環境のインストールプロセスを対比させて比較する](#)
- [前提条件とNAIコンポーネントとの間のバージョン互換性を認識する](#)
- [ダークサイトのインストールを実行する](#)
- [ストレージクラスを構成する](#)

参考資料

- [エアギャップ環境へのNutanix Enterprise AIのインストールまたはアップグレード](#)
- [Nutanix Enterprise AIのインストールまたはアップグレード](#)
- [Nutanix Enterprise AIのダウンロード](#)
- [Nutanix Docker Hubのプライベートリポジトリ](#)
- [NKPのインストール](#)
- [Kubernetesクラスタのセットアップ](#)
- [Google Kubernetes Engineクラスタのセットアップ](#)
- [Nutanix Filesを使用した永続ボリューム要求の作成](#)
- [Nutanix Volumesを使用した永続ボリューム要求の作成](#)
- [ストレージクラスの作成](#)

目標1.3 : DNSを構成し、URLをセットアップし、必要な証明書を管理する

知識

- NAIインストール用のFQDNを特定または実装する
- FQDNが安全な証明書を持っていることを確認する
- UIへのログイン成功を確認する

参考資料

- [Nutanix Enterprise AIの要件](#)
- [Nutanix Enterprise AIの構成パラメータ](#)
- [ドメインおよび証明書カスタマイズの検証およびトラブルシューティング](#)
- [Nutanix Enterprise AIへのログイン](#)

セクション 2 – Nutanix Enterprise AI環境を構成する

目標 2.1 : ユーザーをNutanix Enterprise AIにオン

ボーディングする知識

- ロールとしてのユーザーと管理者の違いを区別する
- 管理者として実行できるユーザー管理操作を特定する
- 特定のシナリオを踏まえて、ターゲットとするユーザーの権限を制限するためにルールを活用する

参考資料

- [Nutanix Enterprise AIにおけるユーザーロール](#)
- [Nutanix Enterprise AIにおけるユーザーの作成](#)
- [Nutanix Enterprise AIにおけるユーザーの有効化または無効化](#)
- [エアギャップ環境へのNutanix Enterprise AIのインストールまたはアップグレード](#)

目標2.2 : 大規模言語モデル (LLM) をインポートする

知識

- インポートに使用できるメソッドとリポジトリを認識する
- HuggingFaceおよび/またはNVIDIA NGCのリポジトリキーを取得する
- 使用するリポジトリキーを追加するUIの場所を認識する
- 手動インポートのプロセスと要件を説明する

参考資料

- [事前バリデーション済みモデル](#)
- [Hugging Faceからの大規模言語モデルのインポート](#)
- [モデルURLを使用したHugging Faceからの大規模言語モデルのインポート](#)
- [Hugging Faceからの大規模言語モデルの手動インポート](#)
- [NVIDIA NGCカタログからのNVIDIA NIMのインポート](#)
- [Hugging Faceトークンの置き換え](#)
- [大規模言語モデルのサイズの計算](#)

目標2.3 : エンドポイントを作成する

知識

- エンドポイントを通じて公開するダウンロード済みモデルを決定する
- 選択したモデルに必要なGPUの数とタイプを判断する
- 特定のスループットを達成するために必要なインスタンス数を判断する
- 最適化シナリオに必要なvCPU/メモリと推論エンジンを判断する

参考資料

- [Nutanix Enterprise AIの要件](#)
- [エンドポイントの作成](#)
- [エンドポイントの削除](#)
- [エンドポイントの詳細の閲覧](#)
- [エンドポイントの属性](#)
- [Open AI互換クライアントを使用したエンドポイントへのアクセス](#)
- [エンドポイントのハイバネーション](#)

目標2.4 : 各APIエンドポイントのためのキーを作成し

て適用する知識

- APIキーの生成と管理を行うための場所を特定する
- エンドポイントでAPIキーを閲覧できる場所を特定する
- APIキーを無効化する
- 既存のエンドポイントにAPIキーを追加する

参考資料

- [APIキーの作成](#)
- [APIキーの更新](#)
- [APIキーの有効化または無効化](#)
- [サンプルAPIコードの閲覧](#)
- [NVIDIA NGCパーソナルキーの追加](#)

目標2.5 : エンドポイントをコンシューマーに

提供する知識

- エンドポイントのURIと、モデル固有のパラメータ、およびコンシューマーと共有するAPIキーを特定する
- ツール呼び出しAPI `curl` コマンドと非ツール呼び出しAPI `curl` コマンドを特定する

参考資料

- [サンプルコードの閲覧](#)
- [エンドポイントの作成](#)
- [エンドポイントの属性](#)
- [エンドポイント詳細ページのウィジェット](#)
- [Nutanix Enterprise AIにおけるAPIキー](#)
- [APIキーの作成](#)
- [APIキーの有効化または無効化](#)
- [Nutanix Enterprise AIと連携させたAnythingLLMの使用](#)
- [Nutanix Enterprise AIにおける推論モデル](#)

セクション3 - デイ2の運用を実行する

目標 3.1 : アプリを接続するための要件を準備する知識

- NAIアプリケーションでサンプルリクエストを取得する場所を決定する
- サンプルリクエストの要素とOpenAI準拠のアプリケーション構成に必要な要素を説明する
- 異なるエンドポイントタイプを認識し、与えられたアプリケーションに適したものを選択する

参考資料

- [サンプルAPIコードの閲覧](#)
- [埋め込みの作成](#)
- [Nutanix Enterprise AIにおけるエンドポイントの閲覧](#)
- [Open AI互換クライアントを使用したエンドポイントへのアクセス](#)
- [APIキーの作成](#)
- [エンドポイントのテスト](#)

目標3.2 : パフォーマンスの詳細を解釈し、それに応じて最適化する知識

- パフォーマンス評価のために可観測性メトリクスを決定する
- レイテンシーとスループットの問題を改善するためにリソース割り当てにおいて変更可能なことを判断する

参考資料

- [クラスタおよびノードの使用状況と健全性統計の閲覧](#)
- [クラスタ使用状況と健全性統計](#)
- [ノード使用状況と健全性統計](#)

目標3.3 : 異常値検出のためにアクセス活動を監視する

知識

- 使用されているAPIキーのトップ5を閲覧できる場所と方法を判断する
- エンドポイントダッシュボードをみつけ、割り当てられたAPIキーを閲覧する
- APIキーを無効化するタイミングを認識する
- 監査イベントのレビューと解釈を行う

参考資料

- [NAIダッシュボードのウィジェット](#)
- [エンドポイント詳細ページのウィジェット](#)
- [Nutanix Enterprise AIにおけるユーザーの有効化または無効化](#)
- [APIキーの有効化または無効化](#)
- [Nutanix Enterprise AIにおける監査イベントの閲覧](#)

目標3.4：出力の品質を最適化するために適切なLLMを選択する

知識

- 人間のフィードバックを通じて精度を評価するためにエンドポイントごとのプロンプト入力とLLM出力を決定する
- 出力品質を向上させるために使用できるテクニックとモデルを判断する
- 安全性を向上させるためにガードレールを適用する
- 望ましい結果を達成する再ランクモデルを適用する

参考資料

- [事前バリデーション済みモデル](#)
- [インポートされたLLMの属性](#)
- [Nutanix Enterprise AIのPulseテレメトリ](#)

セクション4 – Nutanix Enterprise AI環境をトラブルシューティングする

目標 4.1：パフォーマンスとリソース使用率の問題をトラブルシューティングおよび

解決する知識

- インフラストラクチャのパフォーマンスを閲覧できる場所を判断する
- GPUノードでフィルタリングする方法を認識し、その結果得られるGPU使用率グラフを確認し、どのGPUが大量に使用されているかを判断する
- エンドポイントがGPUを使用しているかどうかを判断する
- エンドポイントがどのタイプのGPUを使用しているかを認識する
- エンドポイントがCPUベースのアクセラレーションを使用しているかどうかを判断する

参考資料

- [クラスタ使用状況と健全性統計](#)
- [ノード使用状況と健全性統計](#)
- [Nutanix Enterprise AIにおけるエンドポイントの閲覧](#)
- [エンドポイントの詳細の閲覧](#)
- [ロギングのオペレーター](#)
- [ロギングのアーキテクチャ](#)
- [ノードおよびクラスタとのやり取り](#)
- [Nutanix NKPサポートのための環境データの収集](#)
- [NutanixクラスタへのGPUノードプールの追加](#)
- [Nutanix Enterprise AIのライセンス](#)

目標4.2 : クラスタにおける健全性チェックの失敗を修復する知識

る知識

- [NAI UIで閲覧可能なクラスタ健全性チェックの失敗をデバッグする](#)
- [健全性チェックの失敗の原因になり得る様々なコンポーネントを認識する](#)
- [健全性チェックの失敗に対処するためにKubernetes NAIのシステムリソースを分析する](#)
- [スタックのどのレイヤーが健全性チェックの失敗を引き起こしているかを判断する](#)
- [健全性チェックの失敗についての診断に基づいて適切な対応策を決定する](#)

参考資料

- [クラスタ使用状況と健全性統計](#)
- [ノード使用状況と健全性統計](#)
- [ワークスペース検出コマンド](#)
- [NKPトラブルシューティングガイド](#)
- [kommander-cmポッドのメモリ制限の増加](#)
- [監査イベントのサマリー](#)

目標4.3 : モデルのインポートとエンドポイントの作成をトラブルシューティングする知識

ブルシューティングする知識

- 構成ミスおよび/または接続性（事前バリデーション済みや、カスタム、および/または制限されたネットワークなど）が原因でモデルのダウンロードができない失敗シナリオを特定する
 - CSIドライバの接続性をトラブルシューティングする
 - モデルのEULAがHuggingFace（Llamaモデル）で承認されたことを確認する
 - HuggingFaceまたはNVIDIAのトークンが有効であることを確認する
- エンドポイントのスケジューリングを妨げる可能性のある利用可能な割り当て可能コンピュータリソース（CPUや、メモリ、GPU、テイントなど）を判断する
- すべての前提条件が正常にインストールされたかどうかを認識する（Kserveなど）
- コンテナイメージのダウンロードやKubernetesノードへの保存に失敗する原因を診断する

参考資料

- [Nutanix Enterprise AIの要件](#)
- [クラスタ使用状況と健全性統計](#)
- [Nutanix Enterprise AIにおける大規模言語モデル](#)
- [Hugging Faceからの大規模言語モデルのインポート](#)
- [Hugging Faceからの大規模言語モデルの手動インポート](#)
- [ノードプール情報の構成](#)
- [Nutanix Kubernetes Platformクラスタのセットアップ](#)
- [エンドポイントの作成](#)
- [エンドポイントの属性](#)
- [エンドポイント詳細ページのウィジェット](#)
- [Nutanix Enterprise AIにおけるユーザーロール](#)
- [Open AI互換クライアントを使用したエンドポイントへのアクセス](#)
- [Konvoyイメージビルダー](#)
- [Nutanixイメージビルダー](#)

セクション5 - Nutanix Enterprise AI環境にアプリケーションを接続する

目標5.1 : エンドポイントを使用してアプリケーションの構成とバリデー

ションを行う知識

- アプリケーションによって使用されるモデルとエンドポイントのタイプを区別する
- 様々なタイプのモデルを統合する目的とユースケースを認識する
- PythonまたはCurlを使用してOpenAI互換のNAI APIエンドポイントに簡単なクエリを発行する
- アプリケーション統合の問題の調査と対処を行う

参考資料

- [事前バリデーション済みモデル](#)
- [大規模言語モデルのサイズの計算](#)
- [Nutanix Enterprise AIにおけるエンドポイント](#)
- [エンドポイントの詳細の閲覧](#)
- [Open AI互換クライアントを使用したエンドポイントへのアクセス](#)
- [エンドポイントのテスト](#)
- [Nutanix Enterprise AIにおける監査イベントの閲覧](#)

目標5.2 : アプリケーションの使用状況に対応するエンドポイントの

メトリクスを確認する知識

- アプリケーションに関連するエンドポイントごとのレイテンシーとAPIリクエスト数を特定する
- アプリケーションとNAIエンドポイントのメトリクスを関連付ける方法を説明する

参考資料

- [エンドポイントの詳細の閲覧](#)
- [エンドポイント詳細ページのウィジェット](#)
- [エンドポイントの属性](#)
- [エンドポイントのハイバネーション](#)
- [エンドポイントのテスト](#)
- [Nutanix Enterprise AIにおけるAPIキーの閲覧](#)
- [Nutanix Enterprise AIにおける監査イベントの閲覧](#)

4. NCP-AI 6.10 トレーニングの推奨事項

4.1 コースの推奨事項

Nutanixは、試験でテストされる目標に関するトレーニングを実施するコースを提供しています。配信方法、価格など、本コースの詳細は、[nutanix.com/training](https://www.nutanix.com/training)をご覧ください。

コースの詳細は以下のとおりです。

Nutanix® Enterprise AI (NAI) 管理 (NAIA) コースでは、組織でNAIを確実にロールアウトするために必要なすべてを学ぶことができます。適切なKubernetesバージョンとGPU構成の選択から、ストレージクラスや、サービス、アプリケーションのセットアップまで、デプロイメントプロセスを包括的に理解することができます。

Nutanix Kubernetes Platform (NKP) や、Amazon EKS、Azure AKS、Google GKEといった主要なプラットフォームでKubernetesクラスタの構築と管理をする方法を詳しく学びます。NAIをインストールし、ユーザーの管理や、モデルのインポート、エンドポイントの構成、APIキーの取り扱いなど、不可欠な管理タスクをマスターします。

また、リアルタイムメトリクスを使ったシステムパフォーマンスの監視方法や、透明性を確保するための組み込み監査ツールの活用方法、一般的な問題の調査方法も学びます。

NAIAのコースでは、以下のような多くのテーマを学びます：

- NAIをインストールするための準備
- NAIへのインストールとログイン
- インストール後の構成作業
- モデル、エンドポイント、およびAPIキーの扱い方
- パフォーマンス/健全性メトリクスの監視とイベントの監査

本コースは、オンラインで受講できます。またはインストラクターによるトレーニングを受講できます。スケジュールや申し込み方法などの詳しい情報は、www.nutanix.com/universityをご覧ください。

このコースで提供される内容は、NCP-AI 6.10試験に出題される目標の大部分（約80%）をカバーしており、これらの目標をしっかりと理解したい場合に推奨されます。Nutanix環境に更に触れておくことが強く推奨されていることにご注意ください。

5. リソース

5.1 Nutanix Community Edition

Nutanix Community Editionは、Nutanixクラウドプラットフォームをデプロイできる無料の製品です。試験の準備をするために、ソフトウェアをダウンロードし、ご自身の環境を構築するには、[こちら](#)をクリックしてください。

5.2 テストドライブ

[こちら](#)をクリックして、Nutanix Community Editionを活用するハイパーコンバージドテストドライブを2時間使用することもできます。

5.3 Nutanix Community

Nutanix Communityで世界中のクラウドビルダーとつながり、業界のITプロフェッショナルから学んで、経験を共有しましょう。Nutanix Communityに、Nutanix認定資格専用のページがあります。[こちら](#)からアクセスできます。

5.4 その他のクラウドネイティブ関連リソース

その他のNutanix Enterprise AIに関する豊富なリソースは[こちら](#)からご覧いただけます。

NUTANIX

+1 (855) 688-2649 | certification@nutanix.com | www.nutanix.com

©2025 Nutanix, Inc. All rights reserved. Nutanix、Nutanixのロゴ、および本書に記載されているすべての製品名とサービス名は、米国およびその他の国におけるNutanix, Inc.の登録商標または商標です。本書で言及されているその他すべてのブランド名は、識別のみを目的としており、各所有者の商標である可能性があります。